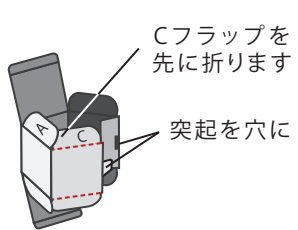


キラキラブロック接合例

①

フタをわかりやすくするため青にしています



のり付けなしで箱が作れます



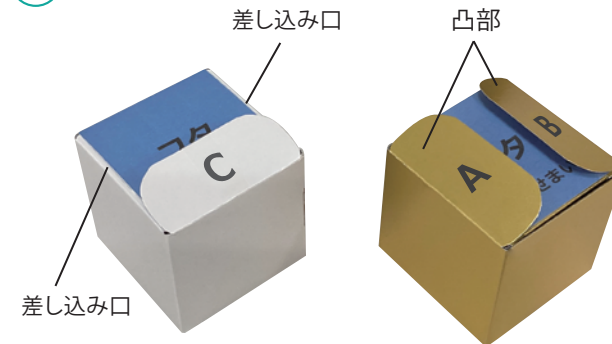
箱(ブロック)は、キャラメル箱に近く、幅がせまいフタが2つ付いています

②



フタを開けると、AフラップとBフラップ、そして一般的な箱にはないCフラップが出てきます

③



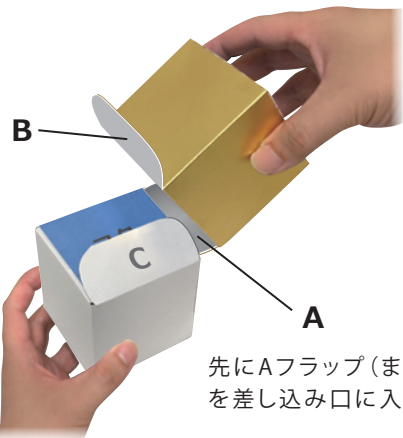
凹ブロック

Cのフラップを出したままでフタをし、フタの上にかぶせます

凸ブロック

AとBのフラップを出したままでフタをし、フタの上にかぶせます

④

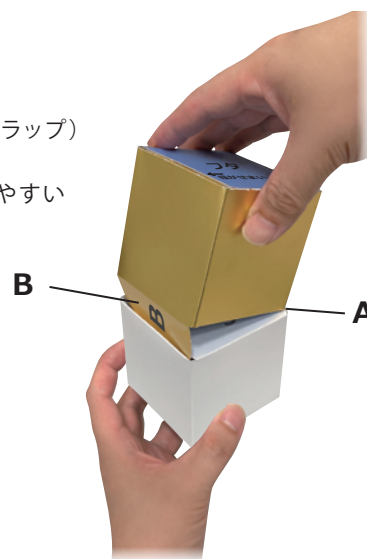


先にAフラップ(またはBフラップ)を差し込み口に入れます

フタの幅がせまいことで、凹ブロックのフタの両脇に凸ブロックのAフラップとBフラップを順に差し込むことができます

⑤

次にBフラップ(またはAフラップ)を差し込み口に入れます
指の爪先などを使うと入れやすいです



⑥



しっかり接合できます。紙の柔らかさを利用し、ひねるなどで外せて、繰り返し遊べます。
接合に使わないフラップはフタでしまえますので、他社のブロックのように凸部などが見えたままにならず、美しい造形表現を可能にします(特許5767420号)